

# 第41回

# 水工学に関する夏期研修会

主 催：(社)土木学会(担当：水工学委員会，海岸工学委員会)  
 共 催：(社)土木学会四国支部  
 期 日：2005年8月2日(火)～3日(水)の2日間  
 (A・Bコース並行開催)  
 場 所：愛媛大学工学部(松山市文京町3番)



日程および講義題目・講師 (注)講義題目には若干の変更がある場合があります

Aコース(河川・水文) [行事コードNo.E518] Bコース(海岸・港湾) [行事コードNo.E519]  
 《総合テーマ》：豪雨・洪水災害の軽減技術の展開 《総合テーマ》：沿岸浅海域の環境保全・修復

## ■ 8月2日(火)

9:15～ 10:45	近年の内外豪雨災害に見られる特徴と課題 田中 仁 (東北大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授)	9:15～ 10:45	海岸施設の環境保全に果たす役割 平石 哲也 (独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部波浪研究室 室長)
11:00～ 12:30	豪雨・洪水対策の現状と今後の方向性 西井 洋史 (国土交通省四国地方整備局河川部 河川調査官)	11:00～ 12:30	海岸空間のデザインと人間の感性について 松原 雄平 (鳥取大学工学部土木工学科 教授)
13:30～ 15:00	台風・集中豪雨の予測技術 大奈 健 (徳島地方気象台 台長)	13:30～ 15:00	河口域の土砂動態 山本 幸次 (国土交通省国土技術政策総合研究所海岸研究室 主任研究官)
15:15～ 16:45	森林の洪水低減・渇水緩和機能とその定量評価法 端野 道夫 (徳島大学工学部建設工学科 教授)	15:15～ 16:45	沿岸・河口漁場環境の崩壊と再生 清野 聡子 (東京大学大学院 総合文化研究科 助手)

## ■ 8月2日(火)

## ■ 8月3日(水)

9:15～ 10:45	流木・洪水氾濫の予測技術 中川 一 (京都大学 防災研究所付属災害観測実験研究センター 宇治川水理実験所 教授)	9:15～ 10:45	植生群落場の流動特性と環境形成 浅野 敏之 (鹿児島大学工学部海洋土木工学科 教授)
11:00～ 12:30	沖積河川の地形予測技術と治水対策への利用 竹林 洋史 (徳島大学工学部建設工学科 助教授)	11:00～ 12:30	浅場における流れと物質輸送 八木 宏 (東京工業大学大学院 情報理工学研究所情報環境学専攻 助教授)
13:30～ 15:00	都市下水道流域の浸水氾濫シミュレーション 渡辺政広 (愛媛大学工学部環境建設工学科 教授)	13:30～ 15:00	干潟の役割と物質循環 中村 由行 (独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域長)
15:15～ 16:45	洪水ハザードマップの現状と課題 及川 康 (高松工業高等専門学校建設環境工学科 助手)	15:15～ 16:45	沿岸環境の修復・再生技術の動向 上野 成三 (大成建設(株)技術センター土木技術研究所 水域・生物環境研究室海洋水理チームリーダー)

## ■ 8月3日(水)

定 員：Aコース150名，Bコース150名

受 講 料：1コースにつき，一般16,000円，学生・院生13,000円(いずれも講義集代を含む)

申 込 方 法：(1)土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active>

(2)FAX：学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」をご利用下さい

\*申込書到着後，10日前後にて折り返し「参加券」および「請求書類」をお送り致します

申 込 締 切 日：2005年7月20日(水)【必着】

締め切り日以降は，原則として行事当日会場にて受付致しますが，定員に達している場合がありますので，事前に下記へお問合わせ下さい

問 合 先：土木学会 研究事業課 TEL：03-3355-3559 E-mail：kuma@jsce.or.jp (担当：熊谷)